



2025.09 No.209

9月、10月のプラネタリウム投映、駅前天体観望会、天文教室予定表

日付	プラネ投映日	天体観望会／天文教室
9月6日(土)		鴻巣駅前天体観望会 (18:30～20:30)
7日(日)	投映日 (11:00～)	
13日(土)	投映日 (11:00～)	
21日(日)	投映日 (11:00～)	
27日(土)	投映日 (11:00～) いちばんぼし会員による特別投映日	
10月4日(土)		鴻巣駅前天体観望会 (18:30～20:30)
5日(日)	投映日 (11:00～)	
11日(土)	投映日 (11:00～)	
19日(日)	投映日 (11:00～)	
25日(土)	投映日 (11:00～) いちばんぼし会員による特別投映日	

<プラネタリウム投映>

- 9月
 - ・スライド番組：「怪物テュホーン」やぎ座にまつわる番組です。
- 10月
 - ・スライド番組：「大わしにさらわれた美少年」みずがめ座にまつわる番組です。



フラムスティード版『天球図譜』

いちばんぼし

鴻巣児童センター主催

天文教室

- 時間：2025年 11月15日(土)
午後7時00分 ～ 午後9時00分
- 場所：鴻巣児童センター
(2Fプラネタリウム室、天文台、観測室)
- テーマ：環が消えた土星
当日は土星の象徴である環が消えた姿をご覧ください。
その他、スバルやアンドロメダ銀河も観察します。
- ※.晴れない場合は、プラネタリウムを使いテーマに沿った講演を行います。
- 開催についての最新情報は、
鴻巣市児童センターのHP 又は 鴻巣市のHPをご確認ください。

いちばんぼし主催

鴻巣駅前 天体観望会

- 開催日時：
開催日、時刻は 9、10月の予定表 をご参照下さい。
天候不順の場合は、翌日同時刻に順延させて頂きます。
- 場所：鴻巣駅東口 エルミ鴻巣 ドコモショップ横
- 内容：参加費は無料です。お気軽にご参加下さい。
詳細は <https://1banboshi.org> にてご確認ください。

この季節の星座

9月～10月の夜空

日付

時刻

天文現象

【皆既月食】

- ・9月8日は皆既月食です。以下予定時間(鴻巣時間)です。
- ・今回の月食は、半影食のまま月が沈むので、月没帯食と呼ばれます。
- ・半影食: 0:26 -----> 5:28(月没の時刻)
 - ・部分食: 1:26 -----> 4:56
 - ・皆既食: 2:30 ----> 3:53

【土星】

- ・9月22日に土星が衝の位置になります。
- ・日没頃に東の空に昇り、日の出頃に西の空に沈みますので、一晩中観測することができます。
- ・今シーズンの土星は、普段の年より環の傾きが小さく、環が細く見えます。望遠鏡をお持ちの方は是非観測して見て下さい。

【月面X】

- ・9月29日に月面Xを観ることができます。
- ・月面 X とは、3つのクレータ(ブランキヌス、ラ・カイユ、プールバツハ)の縁に太陽の光が当たることで、Xの文字が観える現象です。
- ・観測するためには、望遠鏡が必要になります。
- ・あまり目立ちませんが、クレータの名前を頼りに探して見て下さい。

【オリオン座流星群】

- ・10月21日はオリオン座流星群の極大日です。
- ・極大の予測時刻が21時で月明りも殆ど無く、観測条件は良いです。
- ・ピーク時には1時間に15個位の流星を観ることができそうです。
- ・見頃は、10月21日の日没から翌22日の明け方です。
- ・そろそろ、防寒対策が必要な季節になりますので、気をつけて観測して下さい。

9月8日

0:26



皆既月食(月没帯食:半影食の最中に月の入りになる)

3:08



満月 (full moon)

14日

19:32



下弦の月 (last quarter)

22日

4:54



新月 (new moon)

15:31



土星が衝(太陽-地球-土星の順に並ぶ)。

23日

3:19



太陽が黄道上の秋分点(黄経180°)を通過。

—



秋分の日(昼と夜が概ね同じ時間になる)

29日

18:05



月面Xが観える。(1時間程続きます)

30日

8:53



上弦の月 (first quarter)

10月6日

16:41



中秋の名月(月の出の時刻)

7日

12:47



満月 (full moon)

14日

3:12



下弦の月 (last quarter)

21日

21:00



オリオン座流星群の極大

21:25



新月 (new moon)

30日

1:20



上弦の月 (first quarter)

7:02

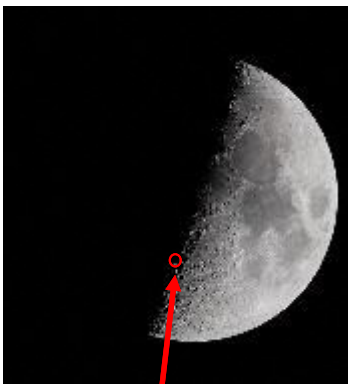


水星が東方最大離角
(-0.1等級、太陽から約23°離れる)

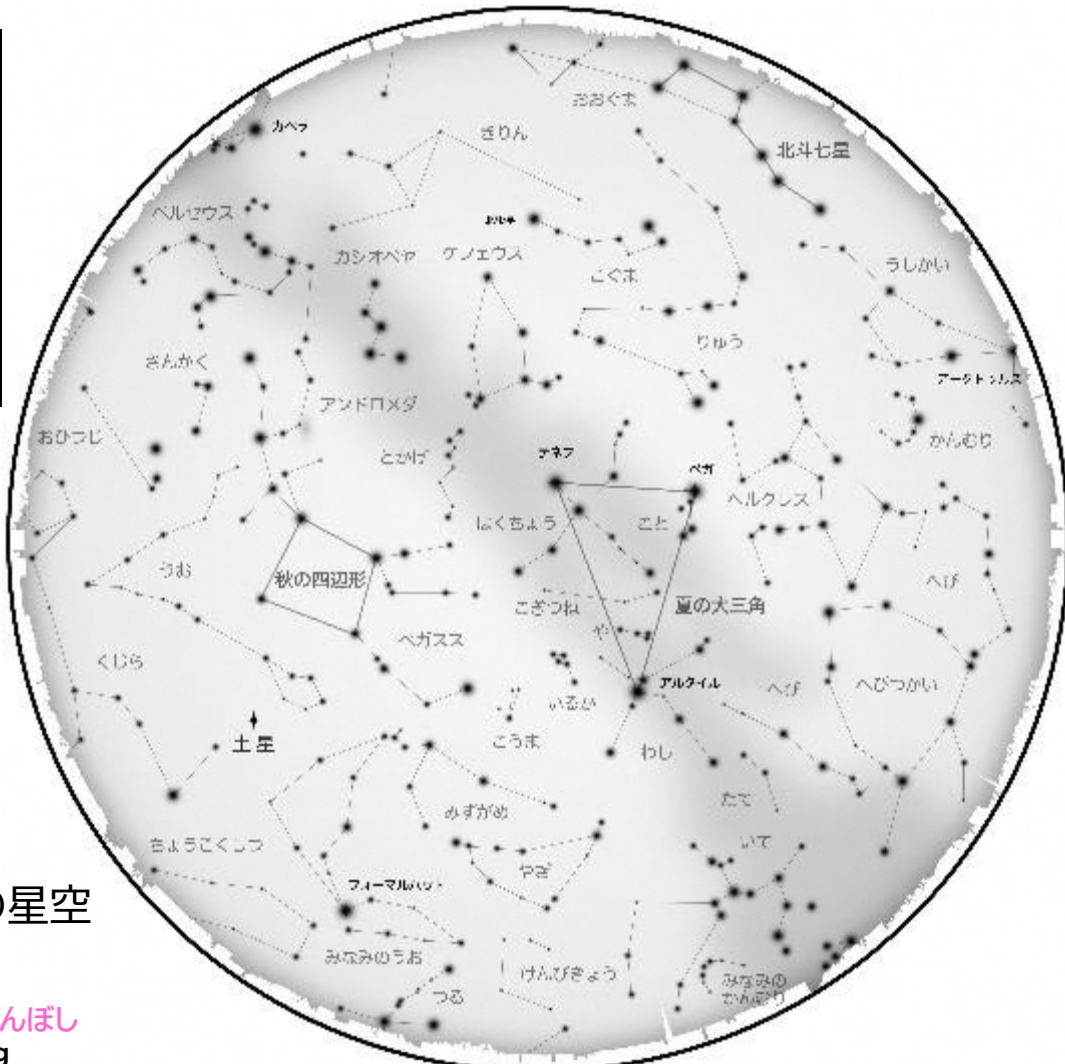
提供 国立天文台

👁️:肉眼でOK 🔭:望遠鏡・双眼鏡が必要

「ISS(国際宇宙ステーション)が見える時間、方角」の情報は「いちばんぼしHP」をご覧ください



月面Xはここら辺
提供 国立天文台



北

東

西

南

2025年9月中旬
午後9時頃 東京の星空
提供 国立天文台

制作:天文サークル いちばんぼし
<https://1banboshi.org>